

岩井市長の2期目がスタート

4月12日(日)の市長選挙で再選を果たした岩井市長が、2期目の初日となる4月23日(木)に登庁し、多くの市民の皆さんや市職員から盛大な拍手で迎えられ、抱負と決意を述べました。



2期目のスタートにあたって

安中市は今年3月に合併20周年を迎え、5月には市役所新庁舎での業務を開始しました。大きな歴史的節目と重なる本年、本市はさらなる発展に向け、新たなスタートを切りました。未来を担う次の世代のために、本市の魅力をより一層高め、市内外に強力に情報発信していくことが重要です。私はその先頭に立ち、市民の皆様の大きな期待に応えられるよう、全身全霊をかけて取り組む決意です。

結婚・出産・子育て支援の充実

本市では平成12年をピークに自然減による人口減少が続き、今後も人口の減少が見込まれています。今年度、市立小中学校の給食費無料化や市内保育施設での病児保育の実施など、少子化対策となる施策を実現しましたが、今後は、小中学校体育館へのエアコン設置や、大規模改造が未実施である小中学校の建て替えなどを計画的に進めていきます。誰もが子育てのしやすさを実感でき、こどもが健やかに成長できる環境づくりを進めるため、少子化対策に向けた取り組みを継続してまいります。

市民生活の利便性の向上

デジタル技術を活用し、新庁舎では証明書等の自動交付システムや「書かない窓口」システムを導入し、市民の皆様が手続きする際の負担軽減や利便性の向上を図ります。また、公共施設予約システムを導入し、ウェブ予約ができるよう取り組みを進めてまいります。

にぎわいエリアの創出

西毛広域幹線道路は、令和13年度の全線開通を目指し、県が整備を進めています。この道路の開通により、周辺の渋滞緩和や物流の円滑化、観光振興など、沿線地域のさらなる発展が期待されます。西毛広域幹線道路とJR信越本線の交差部に商業施設を誘致し、まちづくりの核として新たなにぎわいエリアの創出を目指します。

また、安中駅と磯部駅間で新駅まちづくり構想を進めています。新駅は西毛広域幹線道路との交差点付近に計画し、鉄道と道路の新しい交通結節点として機能することが期待されます。通勤・通学の利便性向上に加え、住宅地整備や商業施設の誘致を進めることで、子育て世代の定住や地域活性化を促進します。

結びに

急速な人口減少や少子高齢化、都市部への人口流出といった社会課題や物価高騰が続く中、必要となるのはスピードを重視した政策の推進です。安中市の魅力さをさらに高めるとともに、文化やスポーツの振興に取り組み、市民の皆様の心の豊かさの向上を図ります。一方で、企業誘致や新たなまちづくりなどは時間を要する施策となりますが、着実に取り組んでまいります。今後も果敢に挑戦し続け、未来への希望と活力に満ち溢れた安中市の実現を目指し、市政の発展にまい進してまいります。